

日本気象学会昭和33年度秋季大会研究発表題目

仙台管区気象台 昭和33年10月22日—24日

1. 山本義一, 近藤純正 (東北大理) : 晴れた夜裸地上に現われる低温層の説明
2. 山本義一, 近藤純正 (東北大理) : 裸地上の気温分布に及ぼす輻射の影響
3. 嘉納宗靖 (気研高層) : 混濁大気中の散乱光の分布
4. 佐藤隆夫 (長崎大) : 地面反射を考慮したる場合の大気散乱光
5. 佐藤隆夫 (長崎大) : 散乱光線の波長別天空分布について
6. 桜井澄子 (気研化学) : 地面付近の大気中にあるオゾン濃度の季節変化
7. 川村清, 桜井澄子 (気研化学) : 大気オゾン測定に関する2~3の問題点
8. 堀内剛二 (気象庁研修所) : 中間層における大気オゾン分布
9. 石川業六 (気研高層) : 微粒子輻射による大気超高層の熱発生
10. 石川業六 (気研高層) : 宇宙線による放射能生成物の気団分析への応用

11. 石井千尋, 三崎方郎, 石川業六, 北村正丞, 須田友重, 新井芳子, 小林正治, 池田元久他8名 (気研電磁) : 定容積気球による成層圏内放射能のゾンデ観測
12. 川野実 (電気試), 中谷茂 (東京理大) : 放射性塵埃の帯電と電気集塵器の特性 (I)
13. 川野実 (電気試), 中谷茂 (東京理大) : 標準ラドン計の試作と, 大気中のラドン量測定結果
14. 高橋寿郎, 道家忠義 (立教大理) : Filter method による気中の Radon daughter の連続観測について
15. 小林正治, 三崎方郎, 池田虎之助 (気研電磁) : 電光放電による電場変化と光度変化について (II)
16. 内藤恵吉 (気研測器) : 雷放電等の Difused Ionized Trail による電波の Coherent 散乱
17. 孫野長治, 織笠桂太郎 (北大理) : 降雨強度と空中電位
18. 関川俊男 (東京理大) : 富士山頂の空中電場の観測
19. 小林寿太郎, 外山芳男 (気研高層) : 露点鏡面上の結露 (霜) 状況について (序報)
20. 成瀬弘, 矢野直, 山路勲 (気研応用) : 電気集塵器の極板上の位置による 空中塵埃の粒度分布と 粒子数の関係について

21. 磯野謙治, 駒林誠, 小野晃 (東大理) : 日本上空の氷晶核について (II)
22. 丸山晴久, 山路勲 (気研応用) : 自然氷晶核の電子顕微鏡的研究 (第1報)
23. 磯野謙治, 駒林誠, 小野晃, 池辺幸正 (東大理) : 土壌物質, 火山放出物, 及び 隕石の氷晶核としての作用について (I)
24. 駒林誠 (東大理) : 浅間火山の爆発が関東地方の雷雨発生を抑圧することについて (II)
25. 孫野長治, 中村勉 (北大理) : 水滴の霧粒捕捉に関する実験
26. 伊東疆自 (気研応用) : 夏の山雲の雲粒粒度分布
27. 大内浩 (秋田大) : 雨滴の粒径分布について (III)
28. 吉川友章 (東京理大), 藤原美幸 (気研高層) : 山岳における雨滴又は雪片の粒度分布について
29. 吉原善次 (気研高層) : 地形性上昇によるレーダーエコーの発生について
30. 今井一郎 (気研高層) : 1957年8月7日北関東豪雨のレーダー及びメソ解析 (第2報)

31. 藤原美幸 (気研高層) : 梅雨のメソスケール解析
32. 青柳二郎 (気研高層) : レーダー等雨量線指示装置及び雨量計による降雨量分布の比較 (第2報)
33. 孫野長治, 樋口敬二, 織笠桂太郎, 菊地勝弘 (北大理) : 水温上昇池の蒸発について

34. 千秋鋭夫 (前橋気) : 流域貯留量と流量との関係及びそれから導いた単位流出関数について
35. 荒川昭夫 (気研予報) : 定常状態および準定常状態における大循環の機構について
36. 松本誠一 (気研予報) : 非対称熱源を有する dish-pan 実験について
37. 松本誠一 (気研予報) : 第3のパラメーターとしての安定度
38. 都田菊郎 (東大理) : 摩擦項を含む渦度方程式の数値時間積分の方法
39. 都田菊郎 (東大理) : バランス及び非バランス大気に対する 2-level 渦度方程式の時間積分誤差について
40. 正野重方, 柳井迪夫 (東大理), 増田善信, 伊藤宏 (気研予報), 寺内栄一 (気象庁予報) : 台風進路のバロトロピック予報
41. 佐藤隆夫, 井上昌幸 (長崎大) : 日本に於ける地面温度の年変化の調和分析について
42. 佐藤隆夫, 石田和子 (長崎大) : 大陸度と気温年較差の相関について
43. 荒川秀俊, 堤敬一郎 (気研予報) : 冬の気温昇降と河川の流量
44. 坂上治郎 (お茶の水大理) : 大気拡散の機構
45. 井上栄一 (農技研) : 浮遊する煙塊の拡散について
46. 武田京一 (九大農) : 地面附近における乱流について
47. 狩野京一, 竹内清秀 (気象庁観測, 浅田正彦 (気象庁予報) : 一様流中へ置かれた熱平板の上の風速及び温度分布 (2)
48. 当舍万寿夫 (気研高層) : 電波伝播の気象的解析
49. 大西外史 (東北大理) : 簡単な非線型運動方程式の近似解について
50. 大沢綱一郎 (長崎海洋) : 雷雨を伴う不安定線
51. 山下洋, 角野迪夫 (仙台管区) : 対流不安定解消に伴う雨量予想の一つの試み
52. 千秋鋭夫 (前橋気) : 雷雲統計とモデル
53. 窪田正八 (気研予報) : 波数空間における運動量輸送の3次元解析
54. 村上多喜雄 (気研予報) : 初夏のヒマラヤ附近のジェット気流の変動
55. 村上多喜雄 (気研予報) : 梅雨期の水蒸気輸送
56. 朝倉正, 片山昭 (気研予報) : 北半球における大気の冷熱源分布について (I)
57. 竹内衛夫 (気研予報) : 低気圧の発達に就いて (第2報)
58. 山元竜三郎 (京大理) : 水爆による気圧波の伝播速度
59. 喜多豊一 (水路部) : 日食に伴う気圧の微変動について
60. 奥田穰 (気研予報) : 500mb 半月天気図による気温予想法
61. 須田建 (気象庁予報) : 東北地方の夏季の低温について (I)
62. 曲田光夫, 戸松喜一 (気研予報) : Objective Analysis について (II)
63. 藤田敏夫 (気研予報) : 一般流のスペクトル分析と統計的モデル
64. 多賀保志, 藤原長司 (統計数理研), 小沢正, 鈴木栄一 (気研予報) : 本邦附近の 500mb 等圧面高度の統計的予報
65. 森信成 (気研予報), 久保木光熙 (気象庁予報) : 1956年夏季の角運動量輸送の変動および分布について
66. 広瀬元孝 (気研予報) : Zonal circulation の長期予報について (II)
67. 高橋浩一郎 (気研予報) : 観測網の密度について
68. 高橋浩一郎 (気研予報) : 石黒式周期分析器による分析結果の例
69. 鈴木栄一 (気研予報) : 降水量に関する統計的究 (II) — 台風による降水分布の推定 —